

最上クロスロード

国道13号 泉田道路通信

第11号 令和4年9月 発行

◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから、「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新たなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路、金山道路、真室川雄勝道路と国道47号新庄古道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先> 国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設監督官室
〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)
TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/shiniji/index.html>

泉田道路で現場見学会!

9月8日(木)新庄神室産業高校 環境デザイン課の2年生 17名が現場見学を行いました。千葉建設監督官より道路事業の流れについて説明をしたあと、新庄北IC(仮)から舗装済みの本線をバスで走行し、舗装途中の現場へ向かいました。



金山方面に向かって走行・・・着々と工事が進んでいます!

舗装現場の様子

舗装中の現場では「連続鉄筋コンクリート舗装」が行われています。その特長やアスファルト舗装との違いについて現場代理人さんより教えて頂きました。

スリップフォームペーバで作業中の様子



進行方向

こちらは「スリップフォーム工法」という施工を行っています。

使用する機械には、コンクリートの数均し・締固め・成型・表面仕上げの機能があり、型枠を使用せずにコンクリート舗装を連続的に施工する工法です。施工能力が大きく施工速度が速いなどの特長があります。

舗装前の状態



舗装完了後の路面

舗装前の状態で、アスファルトの上に配置された鉄筋にはコンクリート収縮のひび割れを分散させる役割があります。

舗装完了後は、通常のコンクリート舗装に比べ路面の凹凸がありません。

そのため、走行時の振動や騒音が低減されます。

Q. 高規格道路の法面には雑草が茂っています。この雑草にはどんな効果があるでしょう。



A. 雨で土が流れないようにするという効果があり、「法面保護」と言います。

橋の上で記念撮影をしました。



現場見学に来た生徒さんは、昨年度の見学時と比べ、工事がだいぶ進んでいることに驚いていました。これまでの現場見学やインターシップを通して、建設業への関心がより高まったようでした。将来の建設業での活躍を期待しています!

